

## 建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在ジッダ日本国総領事館

記入日 平成27年10月26日

### 1. 現地の建設・不動産市場に係る経済情報

該当なし

### 2. 建設業制度、入札契約制度、不動産業制度の改正動向

該当なし

### 3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙
1	<b>Eng. Abdul Latif Al-Sheikh</b> 都市村落相は総額9億2100万リヤルの都市計画契約に署名した。本契約は雨天・洪水対策、排水設備、居住地域の開発、発電所の建設、公共設備の建設、公園及び歩道の整備等23項目から成り、雨天・洪水対策については具体的にはマッカ北部での雨水排水システム導入、マッカ市内アルジャムーム地区での洪水対策、ジッダでの洪水対策及び雨水排水システム導入が含まれる。	9月3日/Al Madina紙
2	<b>Abdullah Al-Thagafi</b> 教育省ジッダ支部長によれば、現在ジッダで進められている新規学校建設計画の総額は12億リヤル超になり、右計画第一フェーズの建設費は約5億7千万リヤルで、教育管理開発会社の施工により、12の小学校、21の中学校、9の高校が建設される。また、近々実施予定の第二フェーズの建設費は約6億3千万リヤルで、26の小学校、27の中学校、14の高校が建設される予定。	9月6日/Al-Madina紙
3	メトロ・ジッダ社のオサマ・アブドゥ CEO は、総事業費450億リヤルのジッダメトロ事業設計を10月までに終え、メトロ着工を2016年中旬から開始する予定であり、まずは第一段階の工事としてオブホル橋の建設に取り掛かると述べた。また、同 CEO は、ジッダメトロは2020年末までに完成し、2022年までに全ての安全確認を終えると述べた。更に、2035年には全交通量の30%を公共交通機関が占有することを目指していると述べた（現	9月8日/Arab News紙

在の占有率は1～2%)。	
--------------	--

4. その他我が国の建設産業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

該当なし
------